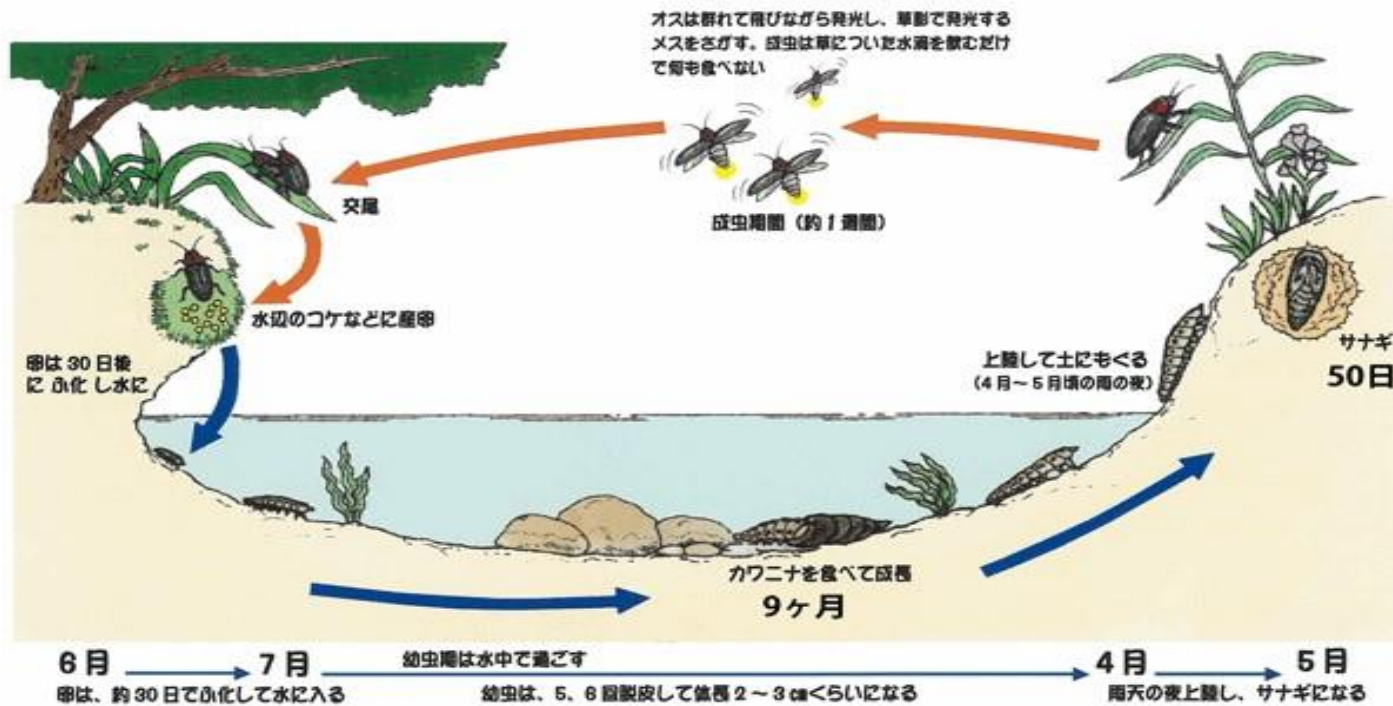
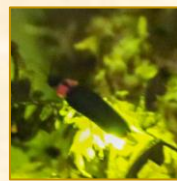


# ホタルの一生



上図は、ホタルの自然のライフサイクルを示したものです。それを模して人工的に作った施設が下図のピカピカランドです。中央部に水路があり、逆瀬川より分岐した農業用水路から水を取り込み、再び元の水路に戻しています。間口 4.1m×奥行き 11.5m×高さ 2.5m の施設です。周辺が網戸になっているので、ごく近くでホタルを観察できるのが特徴です。

この施設でホタルが巻貝のカワニナを捕食し、成虫になり子孫を残します。会員が自宅で孵化させた幼虫も放流します。



← ゲンジボタル成虫

オスもメスも光を発す。体長はメスが 2.0cm、オスが 1.5cm 程度でメスのほうが大きい。

孵化前の卵 →  
卵中央部に黒い点が見える。  
産卵後約 30 日程度で孵化

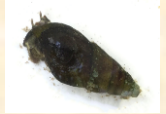


← ホタルの幼虫

カワニナを捕食し、体長 2.5cm 程度になる。桜の咲く時期の雨天の夜に上陸し地中でサナギになる。

# ピカピカランドの維持管理

- ・施設内の草刈・清掃、水量の管理、水温記録
- ・親ホタルからの採卵、孵化、幼虫の放流
- ・ホタルの餌となるカワニナの補充。(カワニナ↓)
- ・カワニナの餌やり (野菜等)
- ・飛翔時期に遮光シート着脱
- ・飛翔時期に観賞者の安全対策確保



# 環境学習会 (ホタルの幼虫放流会)

下記の各小学校の児童を対象に環境学習の一環として、毎年 10 月～11 月に、ホタルの幼虫放流会を行っている。

## 最近の参加小学校

- ・西山小学校 3 年生
- ・末成小学校 3 年生
- ・小林聖心女子学院小学校 3 年生
- ・逆瀬台小学校 2 年生



会員が作った紙芝居を使い、ホタルの生涯を説明後、ホタルの幼虫とカワニナをトレーに入れて観察。

ホタルの幼虫とカワニナを入れたコップを持ち施設の中に入り、川の中に放流する。

